

# 平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

## (男) 1 回戦

試合日: 2014/08/02  
開始時刻: 15:30~  
会場: 船橋市総合体育館  
コート: Cコート  
試合順: 第5試合(男) 1 回戦

Team A		Team B
県立小林	86	75
(宮崎県)		(栃木県)

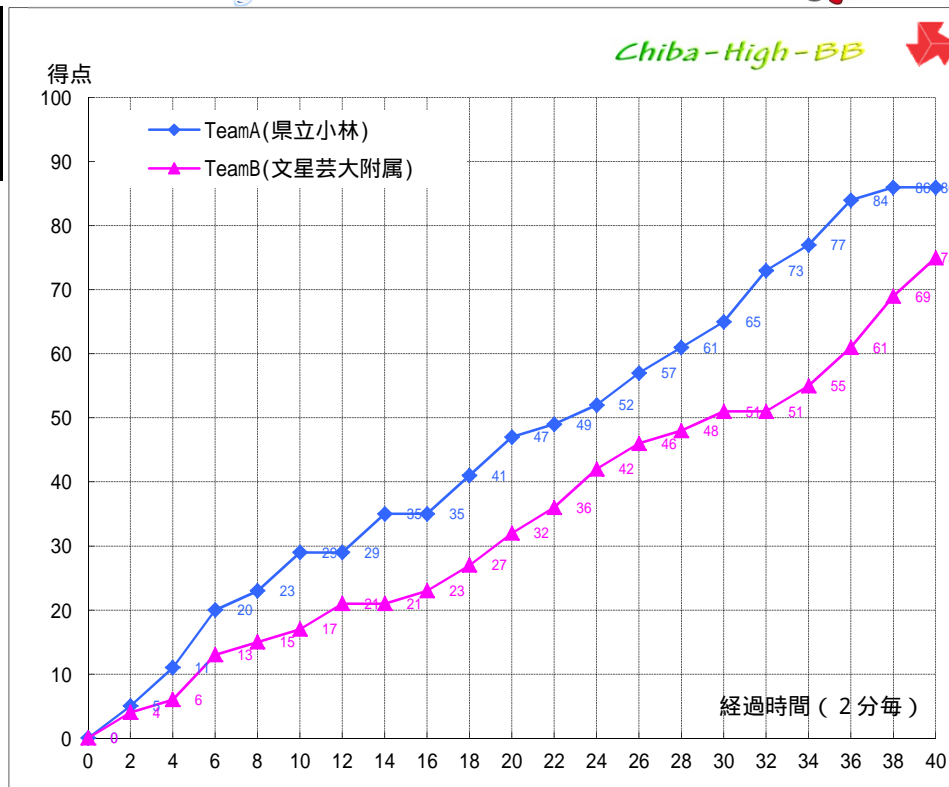
### TeamA(県立小林)

PT	選手名	得点	3P イント			反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成	成	成		off	def	計			
4	蜂須賀 柔気	0	0	0	0	3	0	2	2	1	0	2
5	高山 寛史	6	0	3	0	1	3	3	6	1	0	2
6	宮崎 祐輔	24	0	10	4	3	5	2	7	3	1	3
7	濱砂 賢人	6	0	3	0	0	0	3	3	5	1	4
8	村角 健陽	13	0	6	1	4	3	1	4	1	0	1
9	斉藤 大介	21	2	6	3	2	2	8	10	6	0	0
10	日高 達範	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
11	高田 宝聖	14	2	4	0	3	1	3	4	0	0	1
12	田中 源一郎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	永野 智久	2	0	1	0	1	1	1	2	0	0	0
14	根井 友彰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	松浦 雅弥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:						0	3	10	13			0
合計		86	4	33	8	18	18	33	51	18	2	14

### TeamB(文星芸大附属)

PT	選手名	得点	3P イント			反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成	成	成		off	def	計			
4	松下 浩之	27	4	6	3	3	1	4	5	0	0	1
5	種里 英男	4	0	1	2	3	0	1	1	4	0	5
6	八木澤 弘人	3	0	1	1	1	1	0	1	0	0	2
7	小川 隼斗	6	0	3	0	0	0	2	2	4	0	3
8	鈴木 優一	19	0	7	5	1	8	10	18	1	0	3
9	早乙女 隆汰	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
10	金久保 航	6	0	3	0	5	0	5	5	4	0	1
11	高嶋 寿剛	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	知久 聖也	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	丸山 友輔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	田中 広大	4	0	2	0	2	1	1	2	1	0	0
15	李沢 隆志	6	0	2	2	0	1	0	1	3	0	4
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:						0	6	5	11			0
合計		75	4	25	13	15	19	28	47	17	0	19

TO/CK/SS 千葉県高体連バスケットボール専門部所属高校バスケットボール部



	前半(1-2P)リフト	後半(3-4P)リフト	延1	延2	延3	延4
TeamA	11:37	38:12				
TeamB	7:20	22:07 33:20 38:12				

### 【戦評】

第1P、小林はオールコートマンツーマン(プレス)、文星芸大附はハーフコートマンツーマンでスタート。文星芸大附の#4の3P、ミドルシュートが決まると小林の#9も3Pで応酬する一進一退の展開が続くが、ミドルシュートの成功率の高い小林が12点のリードで終わった。

第2P、小林は2-3ゾーンでゴール下を堅守するのに対し、文星芸大附は#8のリバウンドから#4、5のドライブ、ゴール下での合わせのオフENSEを展開する。しかし、ピリオド中盤は両チームともにミスが目立ちなかなか点数が入らない。このピリオドは互角の戦いであった。

第3P、どちらのチームもハーフコートマンツーマンで守る。文星芸大附の#8、10のリバウンドと速攻に苦しめられた小林は、#8のゴール下、#4のドリブルワークで徐々にリズムをつかみ、点差を元に戻した。第2ピリオドと同様に互角の戦いであった。

第4P、小林は1-2-2オールコートマンツーマンプレスを仕掛け、一気に点差を広げる。文星芸大附も#8のインサイド、#4のドライブで反撃を狙うも、小林のドライブからの合わせ、#9の3P、#6のレイアップが決まり点差は縮まらない。県大会決勝のときのように最後まで逆転を信じ戦った文星芸大附であったが、第1Pの点差を縮めることはできず、総合的にバランスが良かった小林がこの戦いを制した。

審判	大川 修平 / 大溝 貴広 /	戦評	綿貴 亮
----	-----------------	----	------